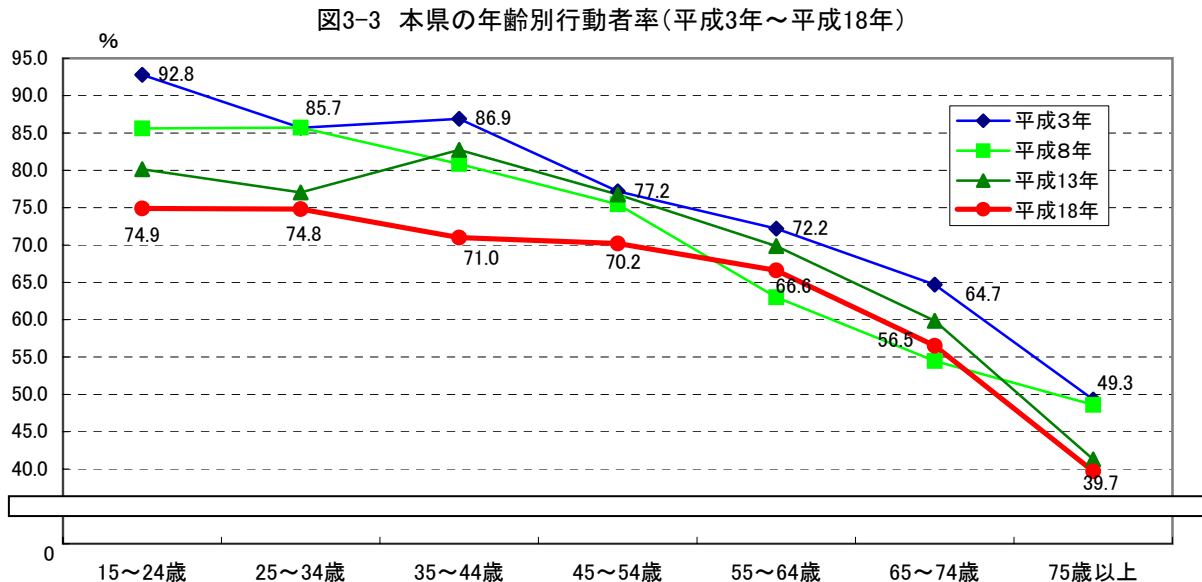


～行動者率は各年代とも低下傾向～

年齢別の行動者率をみると、15～24歳が74.9%と最も高く、以降、年齢階級が上がるにつれ低下し、75歳以上では39.7%となっています。

また、平成3年からの推移をみると、各年齢とも全般的に低下傾向にあります。特に若い世代でその傾向は顕著であり、15～24歳では平成3年と比べ17.9ポイント低下しています。（図3-3）



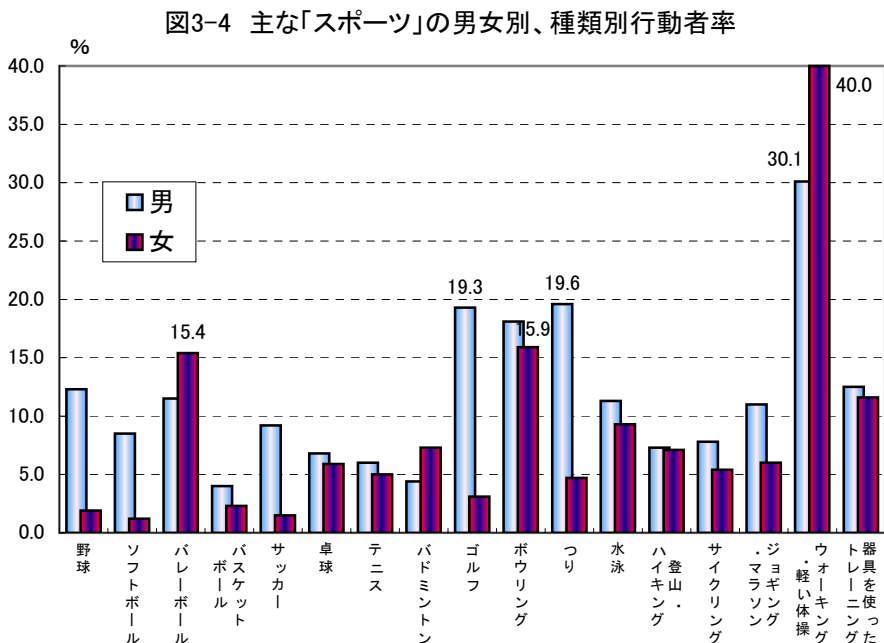
～最も行動者率が高いのは、男女とも「ウォーキング・軽い体操」～

種類別の行動者率をみると、最も高いのは「ウォーキング・軽い体操」で35.4%、以下「ボウリング」の16.9%、「バレーボール」の13.5%の順となっています。（表3-1）

これを男女別にみると、男女とも最も高いのが「ウォーキング・軽い体操」（男性30.1%、女性40.0%）で、以下、男性は「釣り」（19.6%）、「ゴルフ（練習場を含む）」（19.3%）となっており、女性は「ボウリング」（15.9%）、「バレーボール」（15.4%）の順となっています。（図3-4）

表3-1 「スポーツ」の種類別行動者率ランキング(総数)(%)

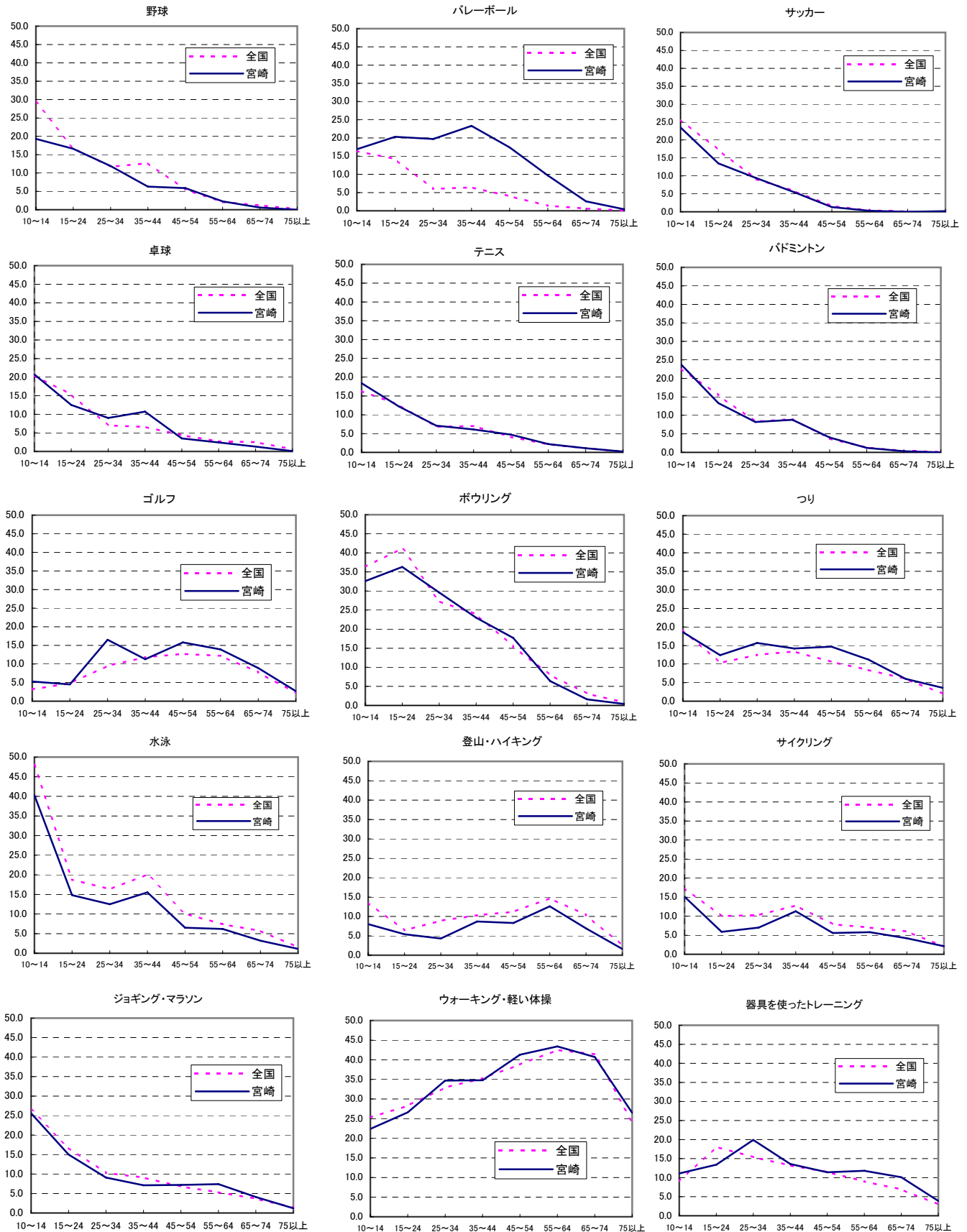
順位	スポーツの種類	行動者率
1	ウォーキング・軽い体操	35.4
2	ボウリング	16.9
3	バレーボール	13.5
4	器具を使ったトレーニング	12.0
5	釣り	11.7
6	ゴルフ(練習場を含む)	10.7
7	水泳	10.2
8	ジョギング・マラソン	8.3
9	登山・ハイキング	7.2
10	野球(キャッチボールを含む)	6.8
11	サイクリング	6.5
12	卓球	6.3
13	バドミントン	5.9
14	テニス	5.4
15	サッカー	5.1
16	ソフトボール	4.6
17	バスケットボール	3.1
18	ゲートボール	1.5
19	スキー・スノーボード	1.4
20	剣道	0.7
21	柔道	0.6



～全ての年齢階級で全国を上回っている「バレーボール」～

「スポーツ」の種類別、各年齢階級別に本県と全国の行動者率を比較すると、「バレーボール」は全ての年齢階級で、「釣り」も高齢者を除き全国を上回っています。また、「ゴルフ」は25～34歳、「卓球」は35～44歳の年齢階級がそれぞれ全国に比べて高いという特徴がみられます。(図3-5)

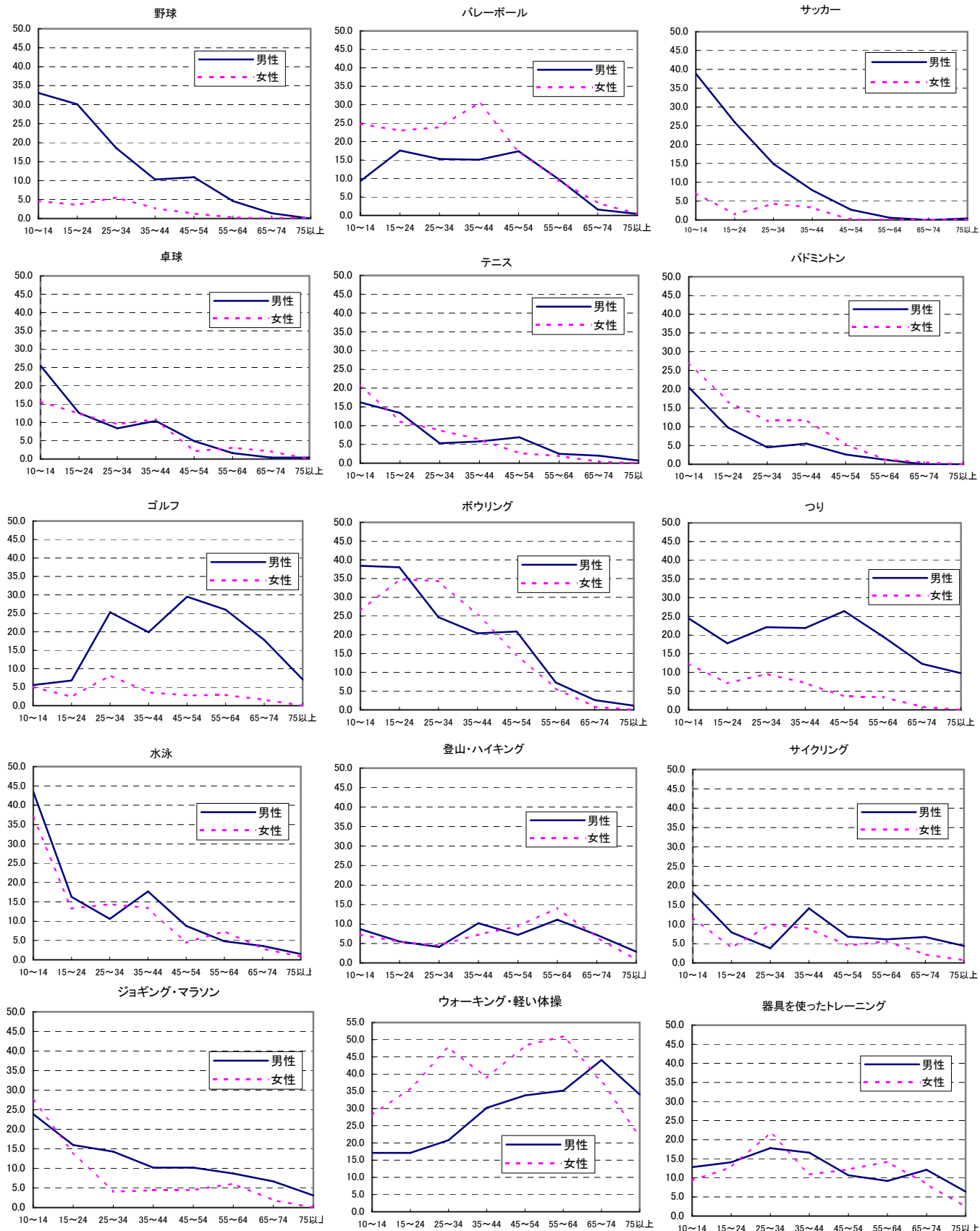
図3-5 本県と全国の年齢階級別、種類別行動者率(%)



～10～14歳の男女で高い「水泳」の行動者率～

「スポーツ」の種類別、各年齢階級別に本県の男女の行動者率を比較すると、「バレーボール」は35～44歳の女性が高く、「ゴルフ」は25～34歳と45～64歳の男性が高く、「水泳」は10～14歳の男女がともに高く、「ウォーキング・軽い体操」は25～34歳と45～64歳の女性がそれぞれ高くなっています。（図3-6）

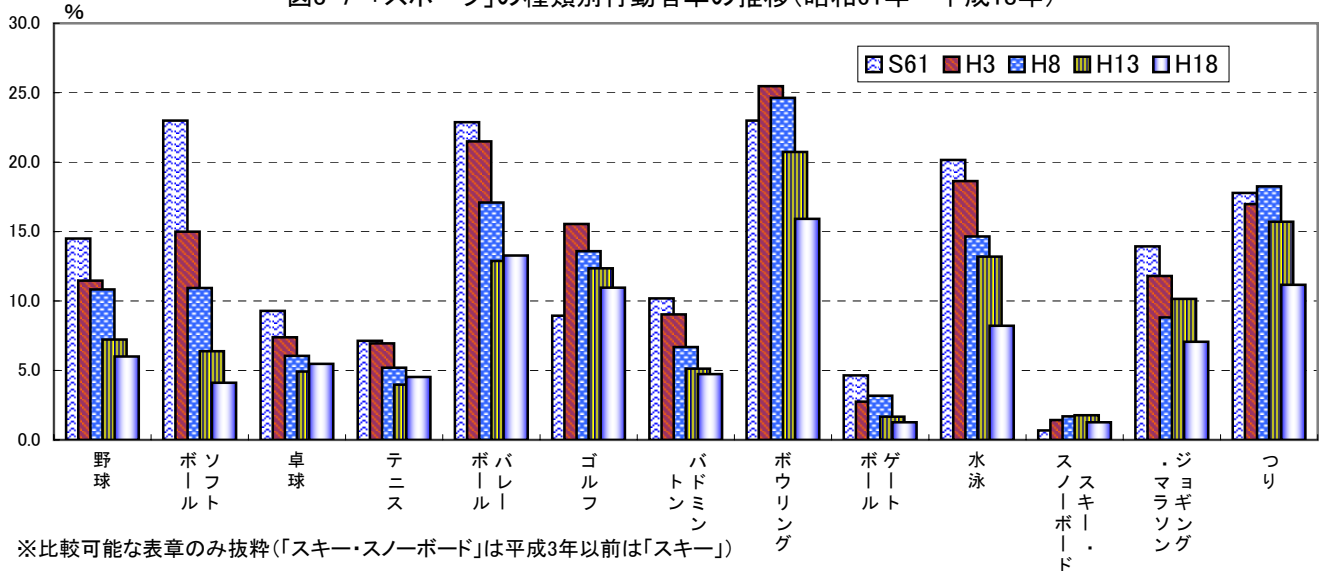
図3-6 男女別、年齢階級別、種類別行動者率(%)



～「スポーツ」の行動者率は20年前と比べ、いずれの種類も低下～

昭和61年からのデータがある「スポーツ」の種類別行動者率（15歳以上）の推移をみると、全体的に低下傾向にあります。ただし、前回調査（平成13年）と比べると、「卓球」、「テニス」、「バレーボール」で若干上昇しています。（図3-7）

図3-7 「スポーツ」の種類別行動者率の推移(昭和61年～平成18年)



～有業者の行動者率が圧倒的に高い「ゴルフ」、「ボウリング」～

本県の15歳以上について、「スポーツ」を種類別、就業状況別にみると、無業者が有業者を上回っているのは「バスケットボール」（有業者1.4%、無業者3.8%）や「ウォーキング・軽い体操」（有業者34.5%、無業者39.1%）などで、それ以外の多くの種類では有業者が無業者を上回っています。特に「ゴルフ」（有業者14.3%、無業者4.9%）や「ボウリング」（有業者19.6%、無業者9.2%）では、約10ポイントの差となっています。（図3-8）

図3-8 「スポーツ」の主な種類別、就業状態別行動者率(15歳以上)

